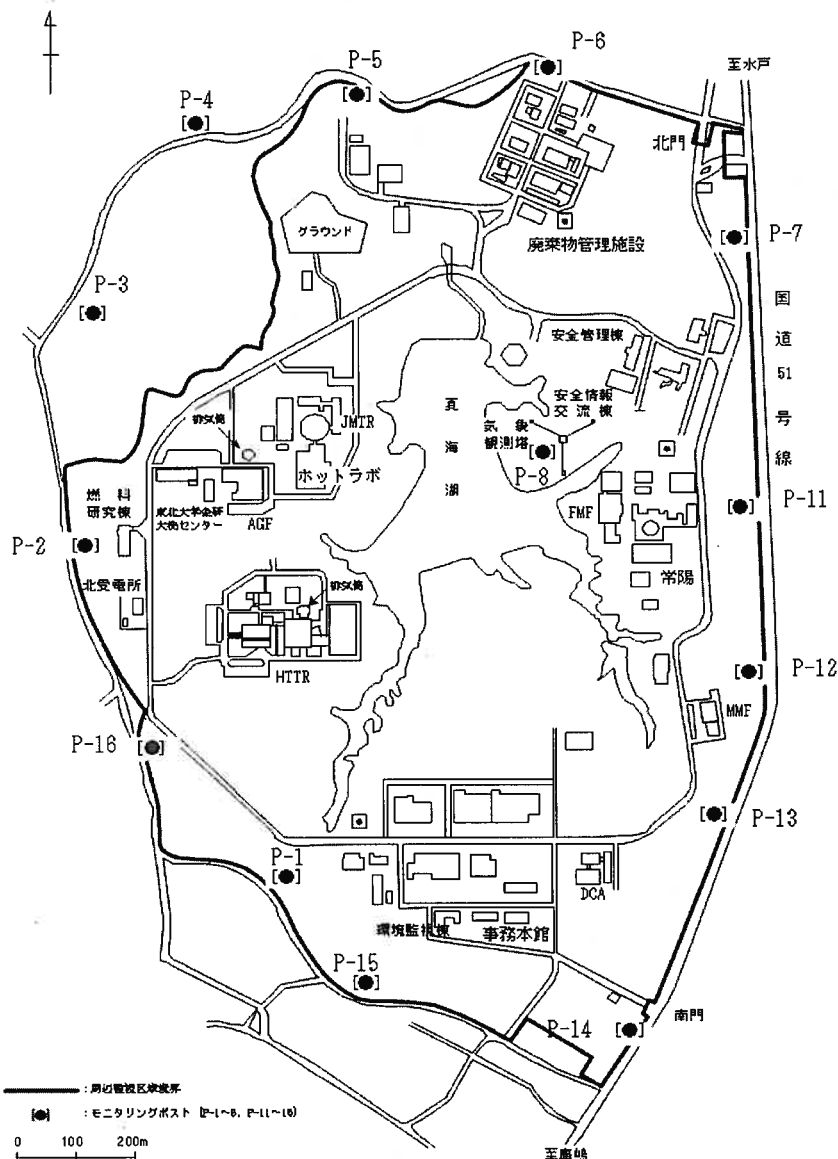


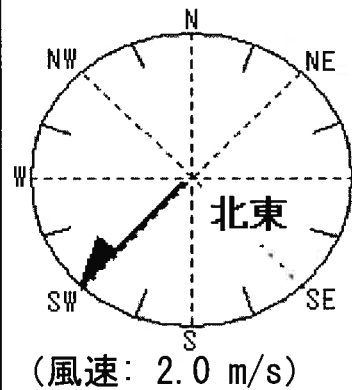
環境監視結果 (2017年06月13日13時30分)

記入者

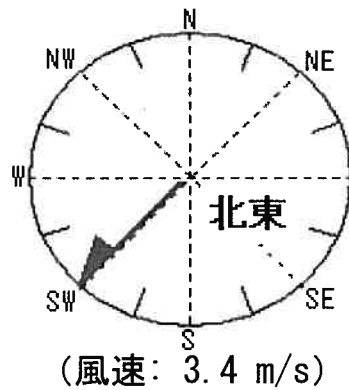


空間γ線量率測定地点及び気象観測地点

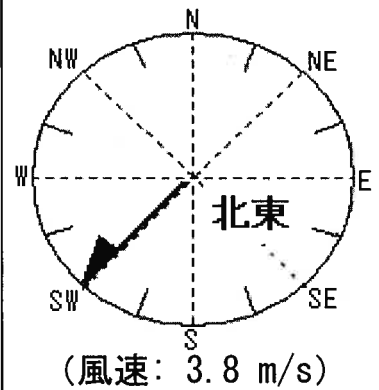
10m高風向・風速



40m高風向・風速



80m高風向・風速

大気安定度 A B C **④** E F G

感雨 有・

モニタリングポスト測定値 (※)

ポストNo.	測定値 (nGy/h)	平常値 (nGy/h)	異常	ポストNo.	測定値 (nGy/h)	平常値 (nGy/h)	異常
P-1	66	63 55~80	有(無)	P-11	114	105 91~121	有(無)
P-2	67	65 58~81	有(無)	P-12	95	92 81~105	有(無)
P-3	55	54 46~67	有(無)	P-13	74	69 58~84	有(無)
P-4	60	59 52~68	有(無)	P-14	59	58 50~82	有(無)
P-5	57	57 51~70	有(無)	P-15	65	65 56~78	有(無)
P-6	53	55 49~68	有(無)	P-16	51	53 45~66	有(無)
P-7	76	78 69~91	有(無)	特記事項: 平常値の欄の上段の数値はH29年3月の 1時間平均値。 下段の数値は1分値の最小~最大値を使用。			
P-8	60	58 51~71	有(無)				

備考欄

H23年3月以降、福島第一原子力発電所事故の影響により事故前に比べ高い線量率で推移している。

(※)緊急事態発生時において実効線量に換算する場合、環境放射線モニタリング指針に基づき換算係数1(Sv/Gy)を適用する。

測定値は通常値と比較して変化はない。

様式2

燃料研究棟放射線モニタデータ

(放管 60 報)

報告先	■ 燃料製造試験課長	■ 放射線管理第2課長
報告時刻	平成 29 年 6 月 13 日 13 時 30 分	

確認時刻		平成29年6月13日 13時20分		確認者	
モニタ名		指示値	通常指示値	判定	
排気ダストモニタα (min ⁻¹)		< 1.0	1.0E+00 ~ 4.1E+00		
室内ダストモニタα (min ⁻¹)		< 1.0	1.0E+00 ~ 1.7E+00		
PuダストモニタNo.1 (s ⁻¹)		< 0.1	~ 1.0E-01		
PuダストモニタNo.2 (s ⁻¹)		< 0.1	~ 1.0E-01		
モニタ名 *		指示値 (μSv/h)	通常指示値 (μSv/h)	判定	
ガンマ線 エリア モニタ	エリアモニタ No.1	80	80 ~ 110	通常指示範囲内	
	エリアモニタ No.2	110	90 ~ 120	通常指示範囲内	
	エリアモニタ No.3	79	70 ~ 100	通常指示範囲内	
	エリアモニタ No.4	120	90 ~ 120	通常指示範囲内	
	エリアモニタ No.5	70	70 ~ 100	通常指示範囲内	
放射線モニタの確認結果		☒ 異常なし ☐ 異常有り			

(特記事項)

*: エリアモニタは、線源を内蔵しており常時100 μSv/h程度に指示を振らせてある。

PuダストモニタNo.2の指示値は、
事故前の値と変動なく、異常なし
(ヒート2枚)

別 添	☒ 有 ☐ 無 (2 枚)
-----	--

燃研棟状態監視

メニュー ガルーダ選択 トリント種別 開始日時 ガルーダ設定 保存ファイル

17/06/13 13:27

17/06/13 13:22

排気タ「スト」α
1.0E+00 min⁻¹

「スト」 E+0

室内タ「スト」(Pu)α
1.0E+00 min⁻¹

「スト」 E+0

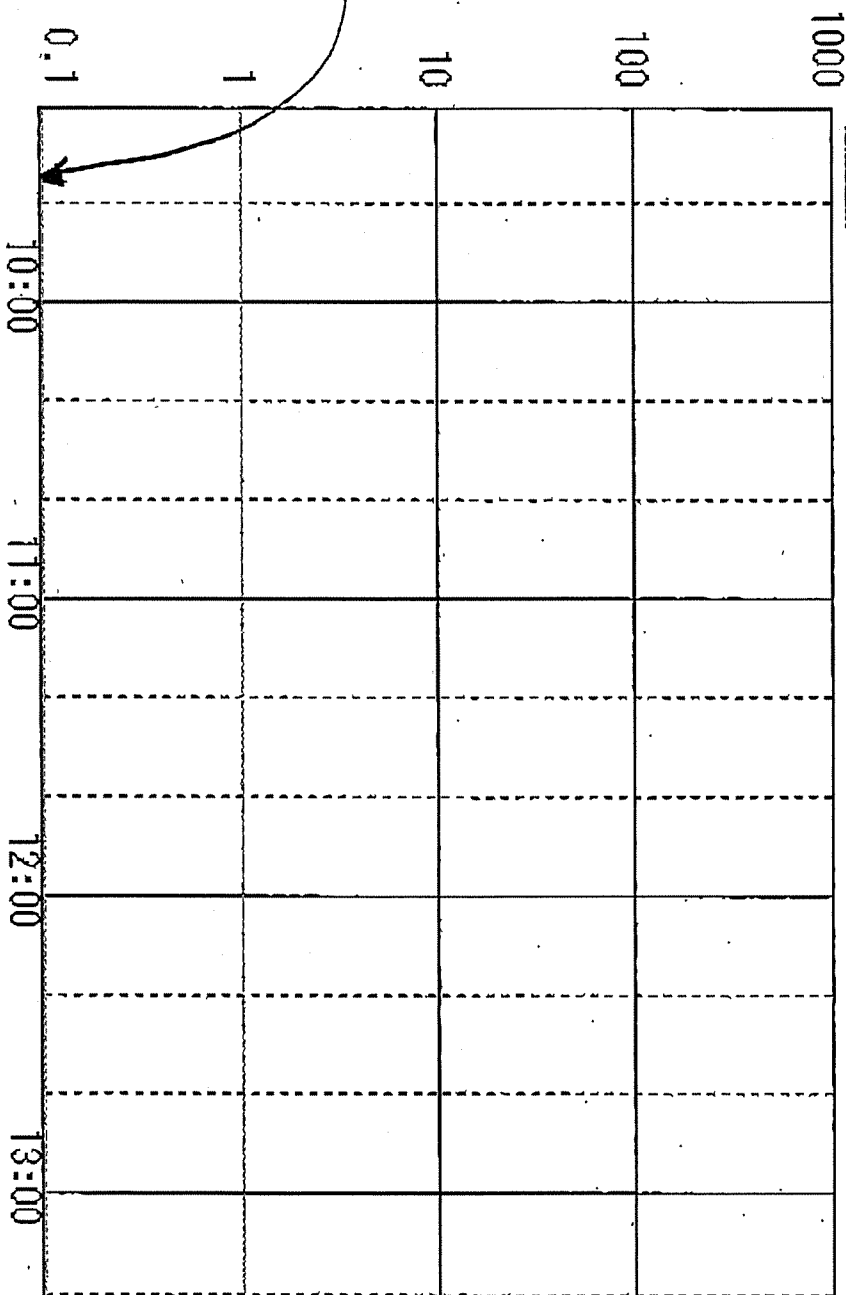
室内Puタ「スト」α②
4.2E-03 s⁻¹

「スト」 E+0

「スト」

燃研棟 トリント表示

(30秒値)

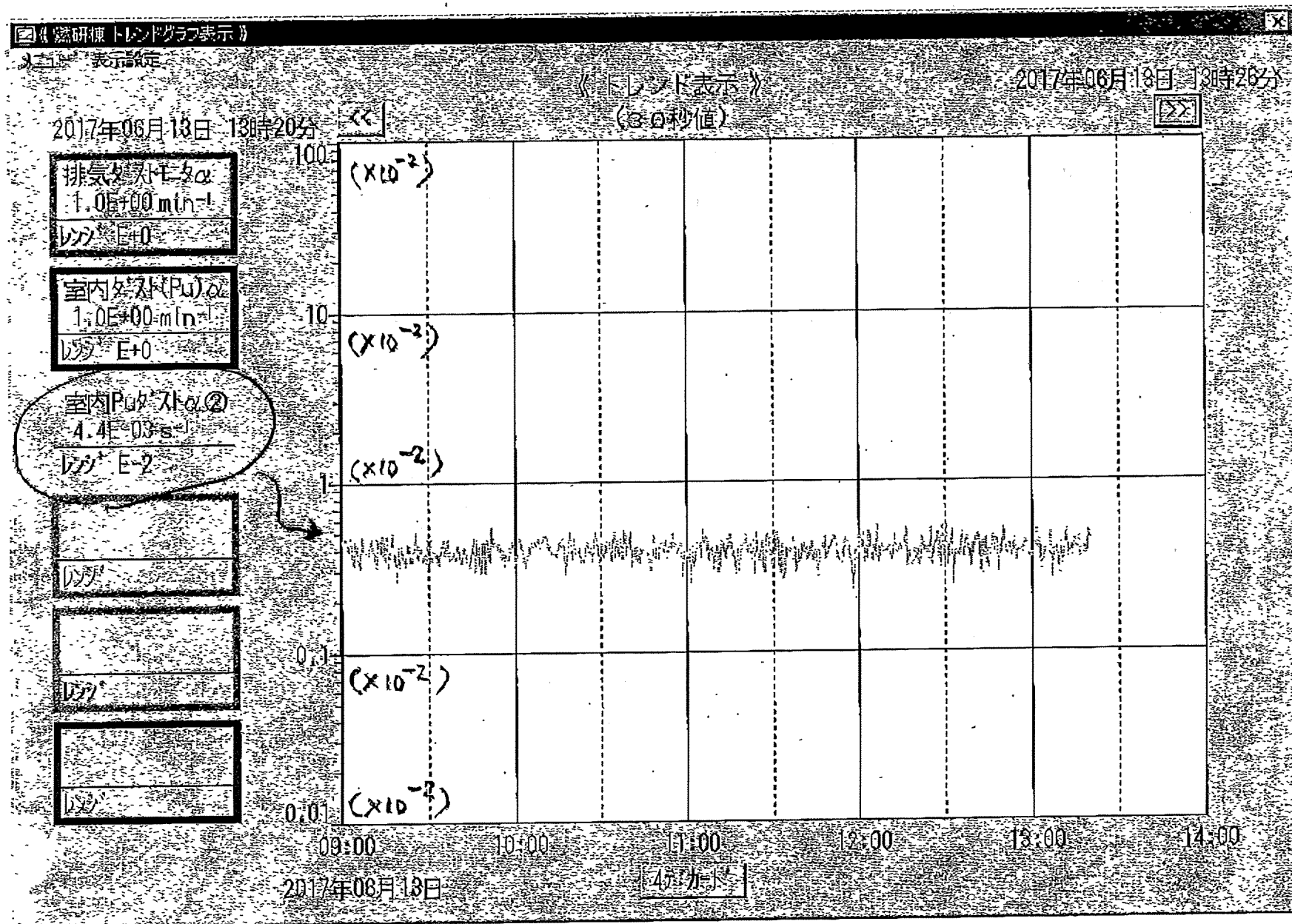


17/06/13

室内Puタ「スト」α② 通常指示範囲内 (<0.1 s⁻¹)

→ 経路由「スト」を切り替え → 別添②

放管 60 報 84 添 ②



室内Puガス α ② 通常指示範囲内 ($< 0.1 \text{ s}^{-1}$)